

通年施工化関連技術指針集

1. 雪寒仮囲い設計施工要領

平成11年3月改訂

通年施工推進協議会

第6章: ウェザ・シェルター

1. ウェザ・シェルターとは

ウェザ・シェルターとは、雪寒仮囲いと同様に、冬期に施工する土木構造物の施工を容易にするため、防雪・防寒を目的として設置する、ユニットタイプの仮囲いをいう。

従って、その目的および適用範囲は1～2頁に示したものと同一である。

2. ウェザ・シェルターの種類

第5章までに示したパイプサポート、型枠足場、短管パイプ、既製ビーム、I形鋼、H形鋼などによる仮囲いの設計、施工は一定の時間と組立・撤去の手間がかかってしまう。ウェザ・シェルターは、この仮囲いをユニット化することで、その簡略化を図ろうとするものである。

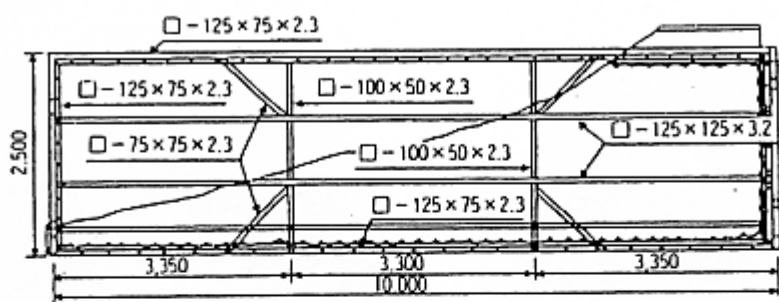
このユニット化の方法として、これまでにエアービームタイプ、ハウスタイプ、伸縮タイプなどが開発されてきたが、現在使用されているのは次頁以降に示した2つのタイプである。

いずれも囲枠は型枠足場を用いて構成し、屋根部をユニット化したものである。

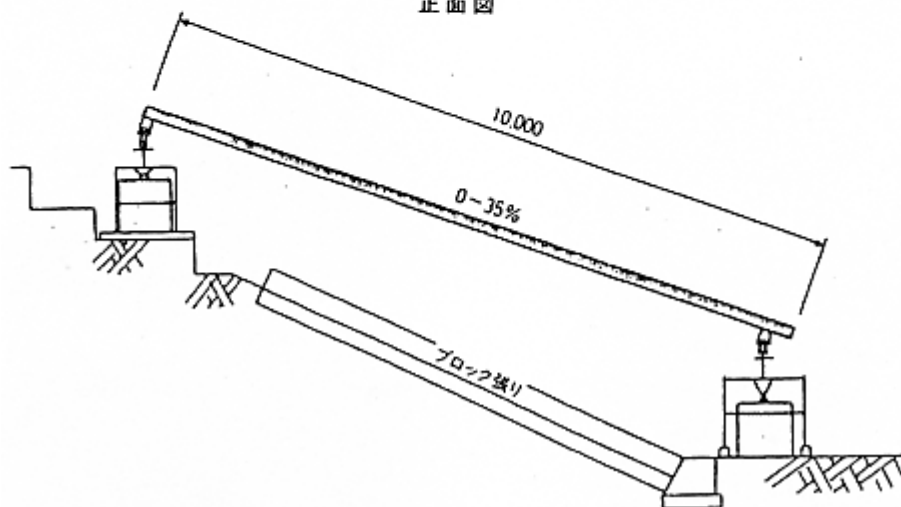
① 「ウェザ・シェルターD型」

幅10mのパネルタイプで両端に車輪がついているため、走行が可能である。片流れ屋根形式となるため、傾斜のある護岸工事用として適している。また屋根の勾配は自由（車輪頭部がヒンジ構造）に設定できる。

平面圖



正面图

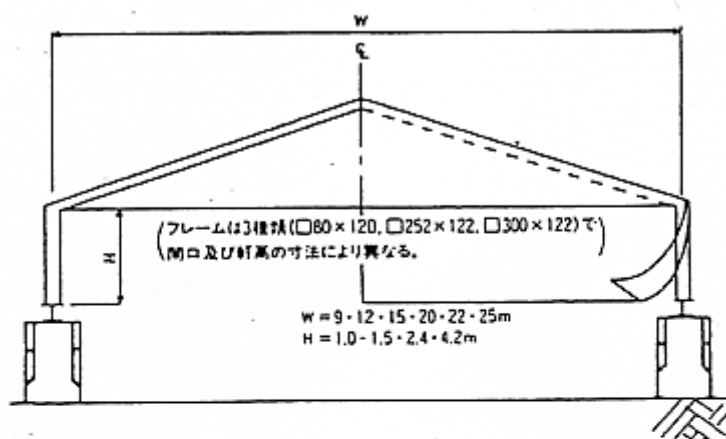


② 「ウェザ・シェルターG型」

アルミ製のフレームに屋根シートを張る形式のものである。間口の大きさは9m、12m、15m、20m、22m、25mの6種類がある。

長さについては1スパン3.6mと5mの倍数で延長が可能である、
屋根シートがスライドでき特徴を持ち、大型資材搬入時には必要箇所を開口できる。

正面図



側面図

